

早池峰山周辺地域のニホンジカ生息状況・森林影響等調査について

【要旨】

林野庁東北森林管理局では、早池峰山周辺森林生態系保護地域及び周辺の森林において、ニホンジカの生息状況等の調査を実施しました。

平成29年度調査と平成23年度に実施した調査を比較すると、生息密度が5.5倍に増加し、食痕が確認された箇所も増加しました。

ニホンジカの高山帯への侵入が進んでおり、ニホンジカによる被害の増大が懸念されます。

1 調査結果

- (1) 早池峰山山頂周辺の120km²で30箇所のメッシュを区切り、その中に調査プロットを設定して、生息密度調査（糞粒法）、森林影響等調査を実施し、併せて自動撮影調査、追跡調査を行いました。
- (2) 生息密度調査では平成23年度の1.5頭/km²から平成29年度は8.2頭/km²に増加しました（図1参照）。
- (3) 森林影響等調査では食痕のないメッシュ数は平成23年度の7から平成29年度は1に減少しました（図2参照）。
- (4) 希少種調査では、岩手県条例で指定された希少種の食害が平成23年度の1種から平成29年度は2種に増加しました。
- (5) 自動撮影調査では、平成26年の撮影頻度0.45頭/日に対して平成29年度は0.77頭/日に増加しました。
- (6) 追跡調査は、ニホンジカ5頭にGPSを装着し、平成27年9月～29年7月（No5・6）、平成28年8月～30年2月（No7～9）に実施しました。季節により移動する4個体と定住する1個体が確認され、移動個体は標高の低い場所で越冬地を形成しています（図3参照）。
- (7) シカの高山帯への侵入が進んでおり、高山植物等へのシカによる被害の増大が懸念されます。

2 今後の対応

植生のモニタリング調査や、ニホンジカの生息状況を把握するため自動撮影、GPSを用いた追跡調査を実施して実態の把握に努めます。

3 その他

東北森林管理局のウェブサイト、「早池峰山周辺地域のニホンジカ生息状況・森林影響等調査報告書（概要）」を掲載しています。

(http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/apply/publicsale/koukoku_kyoku/H29_hayachi_nenihonjikatyousa.html)

問い合わせ先：

林野庁 東北森林管理局 技術普及課
企画官（自然再生） 沖 義裕
秋田県秋田市中通五丁目9番16号
Tel：018-836-2492
Fax：018-836-2012

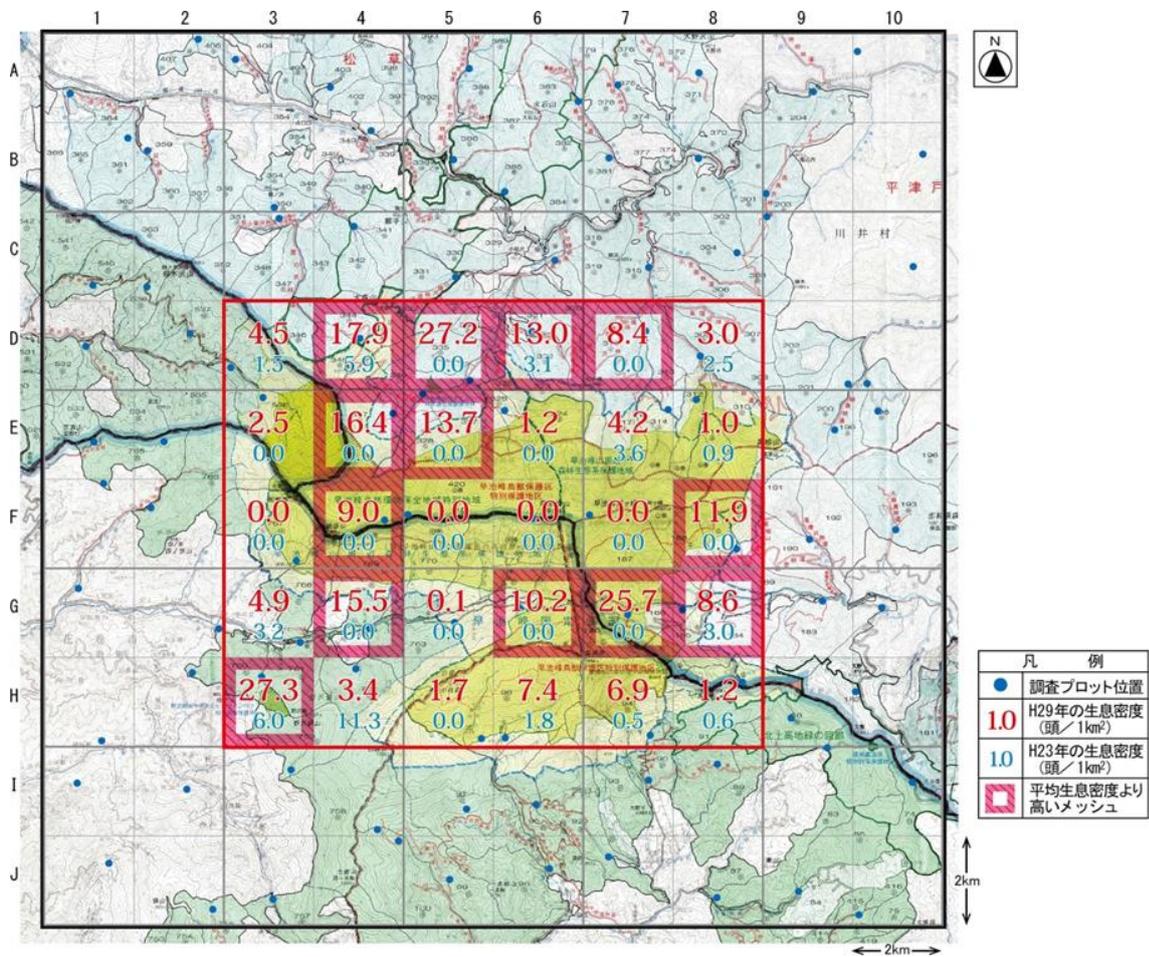
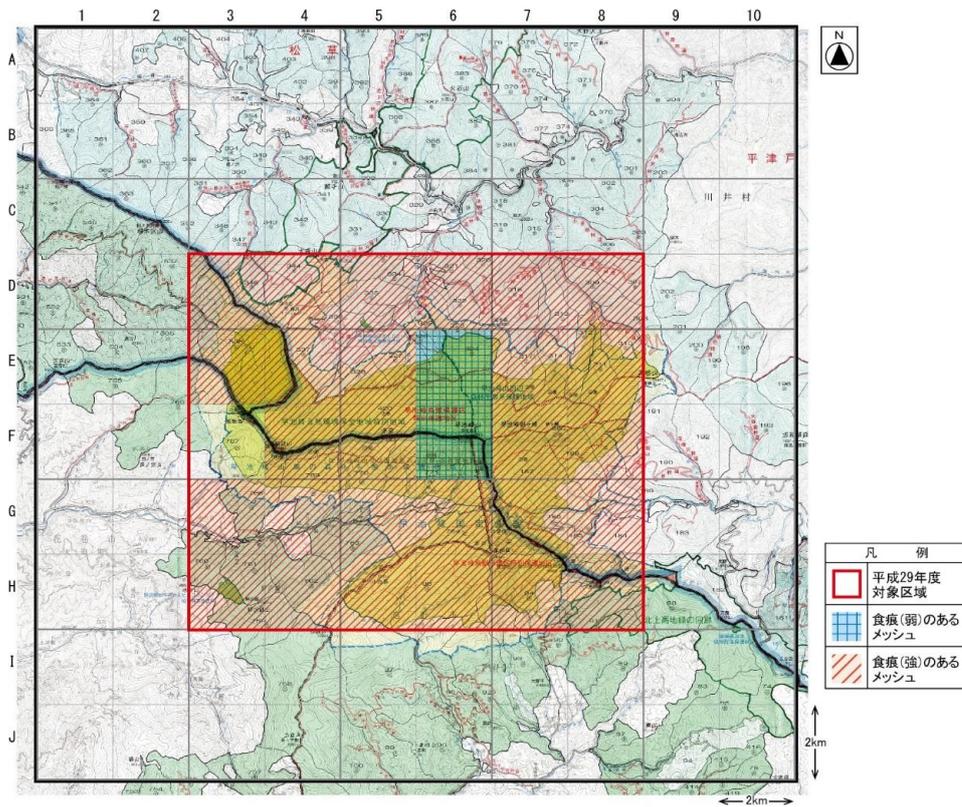
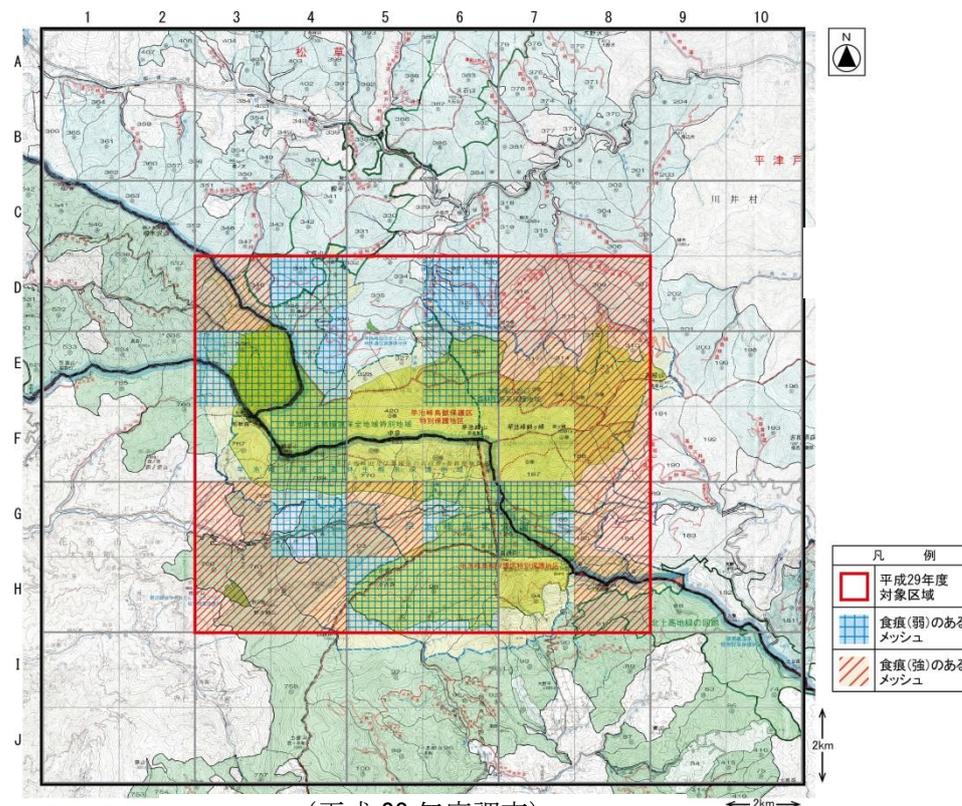


図 1. 平成 29 年度調査メッシュ (赤細枠内) におけるシカ生息密度 (頭/km²)



(平成 29 年度調査)



(平成 23 年度調査)

※食痕(弱)：食痕が確認できるが10%の個体に満たない

食痕(強)：食害が認められた種が5種以上または特定の種の約20%の個体に食痕のある場合

図2 調査メッシュにおける食痕の状況

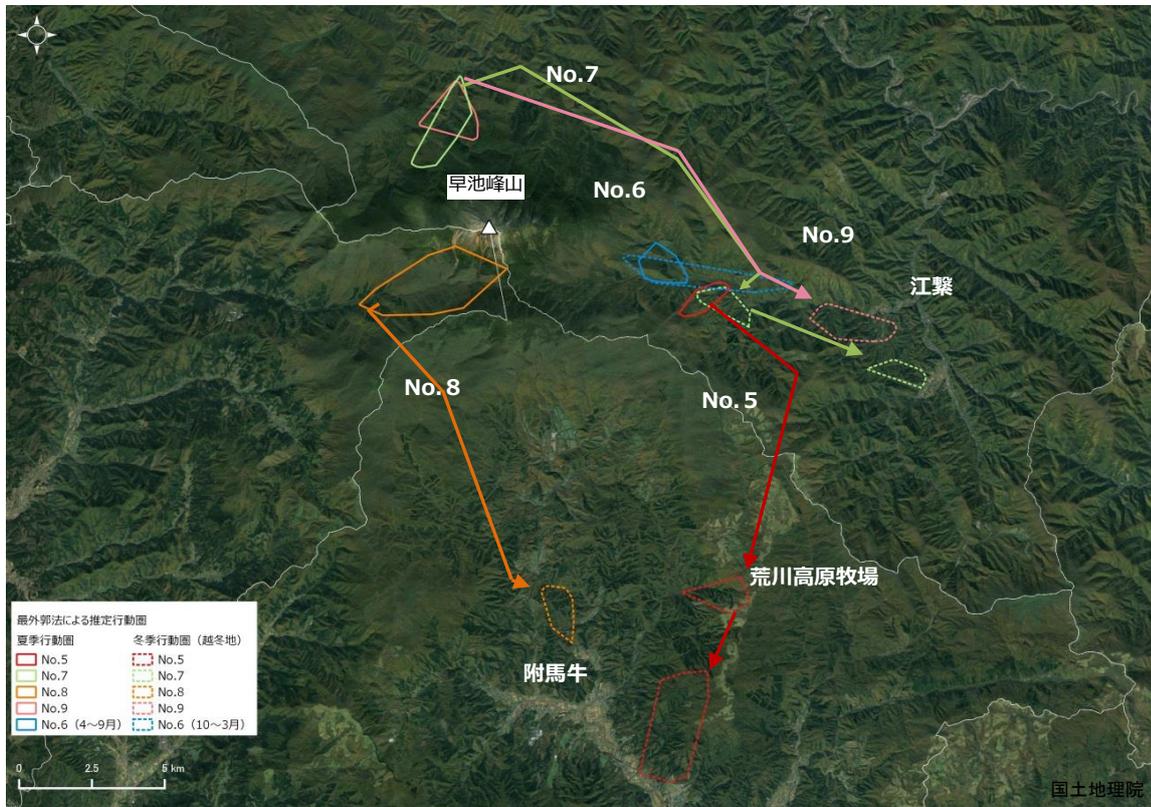


図3 ニホンジカの夏季・冬季の推定行動圏